

## A.2 追加性に関する情報

投資回収年

投資回収年数	4.0	年
--------	-----	---

投資回収年

投資回収年数	17.2	年
--------	------	---

## A.3 排出削減量の算定方法

### A.3.1 排出削減量

$$ER = EM_{BL} - EM_{PJ} \quad (\text{式1})$$

■方法論：EN-S-006 ver. 1.1 「照明設備の導入」更新

記号	定義	単位	数値 ※3
$ER$	排出削減量	tCO2/年	93.0
$EM_{BL}$	ベースライン排出量 ※1	tCO2/年	141.3
$EM_{PJ}$	プロジェクト実施後排出量 ※2	tCO2/年	48.2

■方法論：EN-R-002 ver. 1.1 「太陽光発電設備の導入」更新

記号	定義	単位	数値 ※3
$ER$	排出削減量	tCO2/年	8.0
$EM_{BL}$	ベースライン排出量 ※1	tCO2/年	8.6
$EM_{PJ}$	プロジェクト実施後排出量 ※2	tCO2/年	0.0

※1 A.3.5のベースライン排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※2 A.3.3のプロジェクト実施後排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※3 A.3.2～A.3.5まで入力後、自動計算されます。

### A.3.2 排出削減量の算定で考慮する付随的な排出活動

#### (1) ベースラインの付随的な排出活動

■方法論：EN-S-006 ver. 1.1 「照明設備の導入」更新

(考え方) ※1 本プロジェクトで適用する方法論では、ベースラインの付随的な排出活動は規定されていないため、付随的な排出活動は評価しない。

排出活動	排出量(tCO2/年)	モニタリング・算定方法
		<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
		<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行わない
合計 ※2	0.0	

■方法論：EN-R-002 ver. 1.0 「太陽光発電設備の導入」更新

(考え方) ※1 本プロジェクトで適用する方法論では、ベースラインの付随的な排出活動は規定されていないため、付随的な排出活動は評価しない。

排出活動	排出量(tCO2/年)	モニタリング・算定方法
		<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
		<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行わない
合計 ※2	0.0	

※1 付随的な排出活動の考え方について記載例を参考に記入すること。

※2 行を追加して記入した場合には、合計の参照範囲を確認すること。

(2) プロジェクト実施後の付随的な排出活動

■ 方法論：EN-S-006 ver. 1.1 「照明設備の導入」更新

(考え方) ※1 本プロジェクトで適用する方法論では、プロジェクト実施後の付随的な排出活動は規定されていないため、付随的な排出活動は評価しない。

排出活動	排出量(tCO2/年)	影響度(%) ※2	モニタリング・算定方法 ※3
			<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う。 <input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う。ただし、排出量のモニタリングを省略し、影響度により排出量を評価する。 <input type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する。
合計 ※4	0.0	0.0	

■ 方法論：EN-R-002 ver. 1.0 「太陽光発電設備の導入」更新

(考え方) ※1 本プロジェクトでは、付随的排出活動の評価対象である電力制御装置（パワーコンディショナー）の使用における電力消費量を差し引いた電力消費量を計測する。また、蓄電池を導入する削減活動を事業対象としていない。このため、付随的排出活動の算定を行う必要がない。

排出活動	排出量(tCO2/年)	影響度(%) ※2	モニタリング・算定方法 ※3
電力制御装置（パワーコンディショナー）の使用における排出量	0.011	0.12	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う。 <input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う。ただし、排出量のモニタリングを省略し、影響度により排出量を評価する。 <input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する。
合計 ※4	0.0	0.1	

- ※1 付随的な排出活動の考え方について記載例を参考に記入すること。  
 ※2 A.3.1で算定した排出削減量(ER)に対する比率(%)を記載すること。  
 ※3 方法論で規定された方法から選択すること。  
 ※4 行を追加して記入した場合には、合計の参照範囲を確認すること。

A.3.3 プロジェクト実施後排出量

■ 方法論：EN-S-006 ver. 1.1 「照明設備の導入」更新

(1) 主要排出活動

(考え方) ※1 方法論の「3. プロジェクト実施後排出量の算定」により算定する。

$$EM_{PJ} = EL_{PJ} \times CEF_{\text{electricity, t}} \quad (\text{式2})$$

$$EL_{PJ} = R_{PJ} \times T_{PJ} \quad (\text{式3})$$

記号	定義	単位	想定値
$EM_{PJ}$	プロジェクト実施後の主要排出量	tCO2/年	48.2
$EL_{PJ}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（合計）	kWh/年	84,490.6
$EL_{PJ(A)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内照明）	kWh/年	2,190.0
$EL_{PJ(B)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内照明）	kWh/年	16,169.5

$EL_{PJ(C)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内照明）	kWh/年	30,988.5
$EL_{PJ(D)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内照明）	kWh/年	9,526.5
$EL_{PJ(E)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内照明）	kWh/年	1,752.0
$EL_{PJ(F)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内照明）	kWh/年	1,861.5
$EL_{PJ(G)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋外照明）	kWh/年	5,110.0
$EL_{PJ(H)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内照明）	kWh/年	6,132.0
$EL_{PJ(I)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋外照明）	kWh/年	4,599.0
$EL_{PJ(J)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋外照明）	kWh/年	73.0
$EL_{PJ(K)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋外照明）	kWh/年	547.5
$EL_{PJ(L)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋外照明）	kWh/年	3,942.0
$EL_{PJ(M)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内・屋外照明）	kWh/年	8,942.5
$EL_{PJ(N)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内照明）	kWh/年	3,613.5
$EL_{PJ(O)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内照明）	kWh/年	328.5
$EL_{PJ(P)}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量（屋内照明）	kWh/年	657.0
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO <sub>2</sub> 排出係数（移行限界電源）	tCO <sub>2</sub> /kWh	0.000570
$R_{PJ(A)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	0.60
$R_{PJ(B)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	4.43
$R_{PJ(C)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	8.49
$R_{PJ(D)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	2.61
$R_{PJ(E)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	0.48
$R_{PJ(F)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	0.51
$R_{PJ(G)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋外照明）	kW	1.40
$R_{PJ(H)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	1.68
$R_{PJ(I)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋外照明）	kW	2.52
$R_{PJ(J)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋外照明）	kW	0.02
$R_{PJ(K)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋外照明）	kW	0.15
$R_{PJ(L)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋外照明）	kW	1.08
$R_{PJ(M)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内・屋外照明）	kW	2.45
$R_{PJ(N)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	0.99
$R_{PJ(O)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	0.09
$R_{PJ(P)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	0.18

$T_{JP(A)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内照明)	h/年	3,285
$T_{JP(B)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内照明)	h/年	3,285
$T_{JP(C)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内照明)	h/年	3,285
$T_{JP(D)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内照明)	h/年	3,285
$T_{JP(E)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内照明)	h/年	3,285
$T_{JP(F)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内照明)	h/年	3,285
$T_{JP(G)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋外照明)	h/年	3,285
$T_{JP(H)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内照明)	h/年	3,285
$T_{JP(I)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋外照明)	h/年	730
$T_{JP(J)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋外照明)	h/年	3,285
$T_{JP(K)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋外照明)	h/年	3,285
$T_{JP(L)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋外照明)	h/年	3,285
$T_{JP(M)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内・屋外照明)	h/年	3,285
$T_{JP(N)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内照明)	h/年	3,285
$T_{JP(O)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内照明)	h/年	3,285
$T_{JP(P)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間 (屋内照明)	h/年	3,285

※1 方法論に記載された算定方法のうち、使用する算定方法を明記すること。

## (2) 付随的な排出活動

注)A.3.2(2)において、影響度が1%以上であった付随的な排出活動に全てについて記載する。

(式 )

記号	定義	単位	想定値

■方法論：EN-R-002 ver. 1.0 「太陽光発電設備の導入」更新

## (1) 主要排出活動

(考え方) ※1 太陽光発電設備の導入では、プロジェクト実施後の主要排出量は0tCO<sub>2</sub>/年である。

$EM_{PJ,M}=0$  (式3)

記号	定義	単位	想定値
$EM_{PJ}$	プロジェクト実施後の主要排出量	tCO <sub>2</sub> /年	0.0

※1 方法論に記載された算定方法のうち、使用する算定方法を明記すること。

(2) 付随的な排出活動

注)A.3.2(2)において、影響度が1%以上であった付随的な排出活動に全てについて記載する。

(式 )

記号	定義	単位	想定値

A.3.4 ベースライン排出量の考え方

■方法論：EN-S-006 ver. 1.1 「照明設備の導入」更新

(1) ベースライン排出量の考え方

ベースライン排出量は、プロジェクト実施後の稼働時間で、プロジェクト実施後の照明設備ではなく、ベースラインの照明設備を稼働する場合に想定されるCO<sub>2</sub>排出量とする。

(2) ベースライン活動量（発電電力量、蒸気の供給量又は製品の生産量等）の算定式

$$T_{BL}=T_{PJ} \quad \text{(式4)}$$

記号	定義	単位	想定値
$T_{BL}$	ベースラインの照明設備の稼働時間	h/年	
$T_{PJ}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	

■方法論：EN-R-002 ver. 1.0 「太陽光発電設備の導入」更新

(1) ベースライン排出量の考え方

本プロジェクトにおけるベースライン排出量は、プロジェクト実施後の自家消費電力量をプロジェクト実施後の太陽光発電設備からではなく、系統電力から得る場合に想定されるCO<sub>2</sub>排出量とする。

(2) ベースライン活動量（発電電力量、蒸気の供給量又は製品の生産量等）の算定式

$$EL_{BL}=EL_{PJ}=EL_{PV}-EL_{PVr} \quad \text{(式7)}$$

記号	定義	単位	想定値
$EL_{BL}$	ベースラインの系統電力使用量	kWh/年	15,100
$EL_{PJ}$	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち自家消費した電力量	kWh/年	15,100
$EL_{PV}$	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量	kWh/年	15,100
$EL_{PVr}$	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち他者に提供した電力量	kWh/年	—

### A. 3.5 ベースライン排出量

■方法論：EN-S-006 ver. 1.1 「照明設備の導入」更新

#### (1) 主要排出活動

$$EM_{BL} = R_{BL} \times T_{BL} \times CEF_{\text{electricity},t} \quad (\text{式5})$$

記号	定義	単位	想定値
$EM_{BL}$	ベースラインの主要排出量	tCO2/年	141.3
$R_{BL(A)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	1.91
$R_{BL(B)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	11.73
$R_{BL(C)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	21.37
$R_{BL(D)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	6.23
$R_{BL(E)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	1.00
$R_{BL(F)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	1.04
$R_{BL(G)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋外照明）	kW	4.30
$R_{BL(H)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	5.98
$R_{BL(I)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋外照明）	kW	7.28
$R_{BL(J)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋外照明）	kW	0.16
$R_{BL(K)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋外照明）	kW	1.50
$R_{BL(L)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋外照明）	kW	11.50
$R_{BL(M)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内・屋外照明）	kW	2.10
$R_{BL(N)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	4.20
$R_{BL(O)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	0.20
$R_{BL(P)}$	ベースラインの照明設備の消費電力（屋内照明）	kW	0.60
$T_{BL(A)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内照明）	h/年	3,285
$T_{BL(B)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内照明）	h/年	3,285
$T_{BL(C)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内照明）	h/年	3,285
$T_{BL(D)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内照明）	h/年	3,285
$T_{BL(E)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内照明）	h/年	3,285
$T_{BL(F)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内照明）	h/年	3,285
$T_{BL(G)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋外照明）	h/年	3,285
$T_{BL(H)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内照明）	h/年	3,285
$T_{BL(I)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋外照明）	h/年	730

$T_{BL(J)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋外照明）	h/年	3,285
$T_{BL(K)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋外照明）	h/年	3,285
$T_{BL(L)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋外照明）	h/年	3,285
$T_{BL(M)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内・屋外照明）	h/年	3,285
$T_{BL(N)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内照明）	h/年	3,285
$T_{BL(O)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内照明）	h/年	3,285
$T_{BL(P)}$	ベースラインの照明設備の稼働時間（屋内照明）	h/年	3,285
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO <sub>2</sub> 排出係数(デフォルト値)（移行限界電源）	tCO <sub>2</sub> /kWh	0.000570

(2) 付随的な排出活動

注)A.3.2(1)において、算定することとした付随的な排出活動に全てについて記載する。

(式 )

記号	定義	単位	想定値

■方法論：EN-R-002 ver. 1.0 「太陽光発電設備の導入」更新

(1) 主要排出活動

$$EM_{BL} = EL_{BL} \times CEF_{electricity,t} \quad (式8)$$

記号	定義	単位	想定値
$EM_{BL}$	ベースラインの主要排出量	tCO <sub>2</sub> /年	8.6
$EL_{BL}$	ベースラインの系統電力使用量	kWh/年	15,100
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO <sub>2</sub> 排出係数(デフォルト値)（移行限界電源）	tCO <sub>2</sub> /kWh	0.000570

(2) 付随的な排出活動

注)A.3.2(1)において、算定することとした付随的な排出活動に全てについて記載する。

(式 )

記号	定義	単位	想定値



### A. 4.1 モニタリング計画

■方法論：EN-S-006 ver. 1.1 「照明設備の導入」更新

(1) 活動量（燃料消費量、生成熱量、生産量等）

モニタリング項目			モニタリング方法			プロジェクト計画での想定		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	想定値	根拠	
$T_{PJ(A)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（営業時間9時間（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(B)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(C)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(D)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(E)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(F)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(G)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(H)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(I)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	730	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（年間で最も点灯時間が短いケース2時間×365日=730時間）	
$T_{PJ(J)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(K)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(L)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(M)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(N)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(O)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	
$T_{PJ(P)}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	稼働時間をもとに算定	月	3,285	設置場所ごとに年間稼働時間を保守的に評価（9:00-17:00）×365日=3285時間）	

※1 モニタリング・算定規程に沿って、分類A・B・Cのいずれかの方法を選択すること。  
 分類B（計量器）を用いる場合には、A. 4. 2において計量器やモニタリングポイントの説明を行うこと。  
 分類C（概算等）を用いる場合には、A. 4. 3において概算・推定方法の詳細について説明すること。

## (2) 係数 (単位発熱量、排出係数、エネルギー消費効率、物性値等)

モニタリング項目			モニタリング方法			プロジェクト計画での想定		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	想定値	根拠	
$R_{BL(A)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	1.91	カタログ資料	
$R_{BL(B)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	11.73	カタログ資料	
$R_{BL(C)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	21.37	カタログ資料	
$R_{BL(D)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	6.23	カタログ資料	
$R_{BL(E)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	1.00	カタログ資料	
$R_{BL(F)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	1.04	カタログ資料	
$R_{BL(G)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	4.30	カタログ資料	
$R_{BL(H)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	5.98	カタログ資料	
$R_{BL(I)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	7.28	カタログ資料	
$R_{BL(J)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	0.16	カタログ資料	
$R_{BL(K)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	1.50	カタログ資料	
$R_{BL(L)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	11.50	カタログ資料	
$R_{BL(M)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	2.10	カタログ資料	
$R_{BL(N)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	4.20	カタログ資料	
$R_{BL(O)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	0.20	カタログ資料	
$R_{BL(P)}$	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (パナソニック株式会社)	—	0.60	カタログ資料	
$R_{PJ(A)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	0.60	カタログ値	
$R_{PJ(B)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	4.43	カタログ値	
$R_{PJ(C)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	8.49	カタログ値	
$R_{PJ(D)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	2.61	カタログ値	
$R_{PJ(E)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	0.48	カタログ値	
$R_{PJ(F)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	0.51	カタログ値	
$R_{PJ(G)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	1.40	カタログ値	
$R_{PJ(H)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	1.68	カタログ値	
$R_{PJ(I)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	2.52	カタログ値	
$R_{PJ(J)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	0.02	カタログ値	

$R_{PJ(K)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	0.15	カタログ値	
$R_{PJ(L)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	1.08	カタログ値	
$R_{PJ(M)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	2.45	カタログ値	
$R_{PJ(N)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	0.99	カタログ値	
$R_{PJ(O)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	0.09	カタログ値	
$R_{PJ(P)}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料に基づく (株式会社沖華産業)	—	0.18	カタログ値	
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO <sub>2</sub> 排出係数	tCO <sub>2</sub> /kWh	III	デフォルト値を使用する	年	0.000570	デフォルト値 (移行限界電源)	

※1 モニタリング・算定規程に沿って、分類Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのいずれかの方法を選択すること。  
 分類Ⅰ (実測) を用いる場合には、A. 4. 4において実測方法の説明を行うこと。  
 分類Ⅱ (第三者提供値) を用いる場合には、提供事業者名を概要欄に記載すること。

■方法論：EN-R-002 ver. 1.0 「太陽光発電設備の導入」更新

(1) 活動量 (燃料消費量、生成熱量、生産量等)

モニタリング項目			モニタリング方法			プロジェクト計画での想定		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	想定値	根拠	
$EL_{PV}$	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量	kWh/年	C	電力量計による計測を行う。	月	15,100	メーカーシミュレーション値	

※1 モニタリング・算定規程に沿って、分類A・B・Cのいずれかの方法を選択すること。  
 分類B (計量器) を用いる場合には、A. 4. 2において計量器やモニタリングポイントの説明を行うこと。  
 分類C (概算等) を用いる場合には、A. 4. 3において概算・推定方法の詳細について説明すること。

(2) 係数 (単位発熱量、排出係数、エネルギー消費効率、物性値等)

モニタリング項目			モニタリング方法			プロジェクト計画での想定		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	想定値	根拠	
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO <sub>2</sub> 排出係数	tCO <sub>2</sub> /kWh	III	デフォルト値を使用する	年	0.000570	H25年度デフォルト値 (移行限界電源)	2015年度は全電源排出係数が限界電源排出係数を上回ったため全電源排出係数を採用

※1 モニタリング・算定規程に沿って、分類Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのいずれかの方法を選択すること。  
 分類Ⅰ (実測) を用いる場合には、A. 4. 4において実測方法の説明を行うこと。  
 分類Ⅱ (第三者提供値) を用いる場合には、提供事業者名を概要欄に記載すること。

## A. 4.2 計量器を用いたモニタリング（分類B）に関する説明

注) A. 4.1 (1) においてモニタリング分類B (計量器)を使用する場合の計量器について説明すること。

### (1) 計量器の概要

#### ①特定計量器の場合

モニタリング項目	計量器の種類	モニタリングポイント ※1	検定の有効期限

#### ②特定計量器以外の計量器の場合

モニタリング項目	計量器の種類	モニタリングポイント ※1	計量器の校正方法の説明

※1 モニタリングポイントは(2)と整合する番号を記載すること。

### (2) モニタリングポイント

注) 計量器によるモニタリングポイントを図示すること。必ずしも個別項目ごとに図を作成する必要はなく、一つの図で全てのモニタリングポイントを示してもよい。複数の図を作成する場合は、記入枠を必要に応じてコピーすること。

--

### A.4.3 概算等に基づくモニタリング方法（分類C）に関する説明

■方法論：EN-S-006 ver.1.1 「照明設備の導入」更新

モニタリング項目	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間(h/年)
<p>(推定・概算方法)</p> <p>施設の照明設備の稼働時間は、施設全体の稼働時間と施設内の通路用外灯の稼働時間がある。 施設の開館時間は、午前9：00～午後18：00（9時間）である。また、通路用外灯の稼働時間は18：00～20：00（2時間）とする。 営業日数は年中無休で365日であることから、稼働時間は以下の通り算出する。</p> <p>全館の年間稼働時間 <math>365\text{日/年} \times 9\text{時間/日} = 3,285\text{時間/年}</math> 通路用外灯の年間稼働時間 <math>365\text{日/年} \times 2\text{時間/日} = 730\text{時間/年}</math></p> <p>(モニタリングポイント)</p>	

モニタリング項目	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量										
(推定・概算方法)											
太陽光発電設備による発電電力量は、電力量計を用いて測定する。											
<p>電力量計の誤差を考慮し、保守的に実測値を算出すると、下記の通りになる。                  補正済みの活動量（電力量）＝モニタリングした活動量（電力量）×（100-補正誤差）/100                  補正済みの活動量（電力量）＝モニタリングした活動量（電力量）×（100-1.0/100）＝モニタリングした活動量（電力量）×0.98</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカー</th> <th>型番</th> <th>精度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力量計</td> <td>三菱電機(株)</td> <td>M8UM-S33R 3476</td> <td>±2.0%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	メーカー	型番	精度	電力量計	三菱電機(株)	M8UM-S33R 3476	±2.0%	<p>パワーコンディショナーの消費電力=4.4W/台</p>		
項目	メーカー	型番	精度								
電力量計	三菱電機(株)	M8UM-S33R 3476	±2.0%								
(モニタリングポイント)											

#### A. 4. 4 係数(単位発熱量、排出係数、効率等)の実測方法に関する説明

注) A. 4. 1において分類 I に該当する方法でモニタリングを実施することとした項目について、実測方法の説明を行うこと。なお、実測の中で活動量の計測が必要となる場合(例えば効率の計測)には、活動量の計測区分(分類A～分類C)に準じた説明を行うこと。

モニタリング項目		